

ユーザーズマニュアル

■ はじめに

このたびは弊社製品PrintPro 2.0 基本印刷をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
(以下、「PrintPro 2.0 基本印刷」を「本製品」と呼び、ご説明して参ります)

本書は、基本的な操作方法、注意点などについて記載しております。ご使用の際にお読みください。

なお、表示画面などは操作の一例として掲載しているものです。お客様のご使用環境によっては、画面に表示される内容が異なる場合がありますので、ご了承ください。

■ 著作権／ご注意

- ・本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・本書の内容の一部または全部を無断で複写転載することを禁じます。
- ・本書に掲載の内容および製品の仕様などは、予告なく変更されることがあります。

本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれ、乱丁、落丁などお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

■ 本書の表記方法について

	ハードウェアやソフトウェアの損害やエラーの発生を防止するために、必ず守っていただきたい情報を記載しています。
	特定のテーマに関する補足情報を記載しています。
メニュー、アイコン、ボタン、ウィンドウ、タブ	[]で囲んで表記します。 (例)[OK]ボタンをクリックします。
キーボード上のキー	<>で囲んで表記します。 (例)キーボードの<Tab>キーを押します。
参照先	章、節、項は『』、見出しは「」で囲んで表記します。 (例)『2章 1 ログインとログアウト』(P8)を参照してください。

なお、スクリーンショットおよび文字表記には、Windows 7のものを用いています。他OSの場合は適宜お読み替えてください。

目次

1 第1章 ご使用になる前に

1.1 ご注意

- 本製品を使用するには、Windowsの通常使うプリンタが設定されている必要があります。通常使うプリンタが設定されていない場合は、「コントロールパネル」の「デバイスとプリンター」を開き、プリンタを選択したうえで右クリックし、「通常使うプリンターに設定」を実施してください。
- プリンタ、およびプリンタドライバにより扱える用紙が異なります。印刷を行いたい用紙が、ご使用のプリンタ、およびプリンタドライバで使用できることをご確認の上、ご使用ください。
- バーコード印刷結果の精度は、印刷を行うプリンタ(解像度、インクの濃度、にじみなど)により大きく異なります。使用するプリンタ、用紙、および実際の使用条件で印刷、読み取りのテストを行い、読み取りが十分確実に行えることを確認してから、使用してください。
- スクリーンショットおよび文字表記には、Windows 7ものを用いています。他OSの場合は適宜お読み替えてください。
- 本製品の一部、または全部を無断で複製することはできません。
- 本製品を運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の内容については、改良等のため、予告なく変更することがあります。
- サロゲートペアおよび異体字などのUnicode拡張領域の文字は使用できません。

1.2 お問い合わせについて

ユーザーズマニュアルに記述されていない事柄、または異常な動作などについては、お問い合わせください。なお、弊社ではプログラミング技法などの、弊社が販売する製品に関する内容以外のご質問にはお答えいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせになる前に

お問い合わせをいただく際に、下記の情報をご用意ください。

1. お客様情報、製品情報

- 1) お名前、お電話番号
- 2) 製品のシリアル番号
- 3) 製品のバージョン

2. ご使用環境

- 1) Server、PC、プリンターなどのハードウェア環境
- 2) OS、開発言語などのソフトウェア環境

3. ご質問の内容

- 1) 問題の現象
- 2) 問題の再現方法
- 3) 問題を再現できるサンプルコードなど

2 第2章 本製品の概要

2.1 製品概要

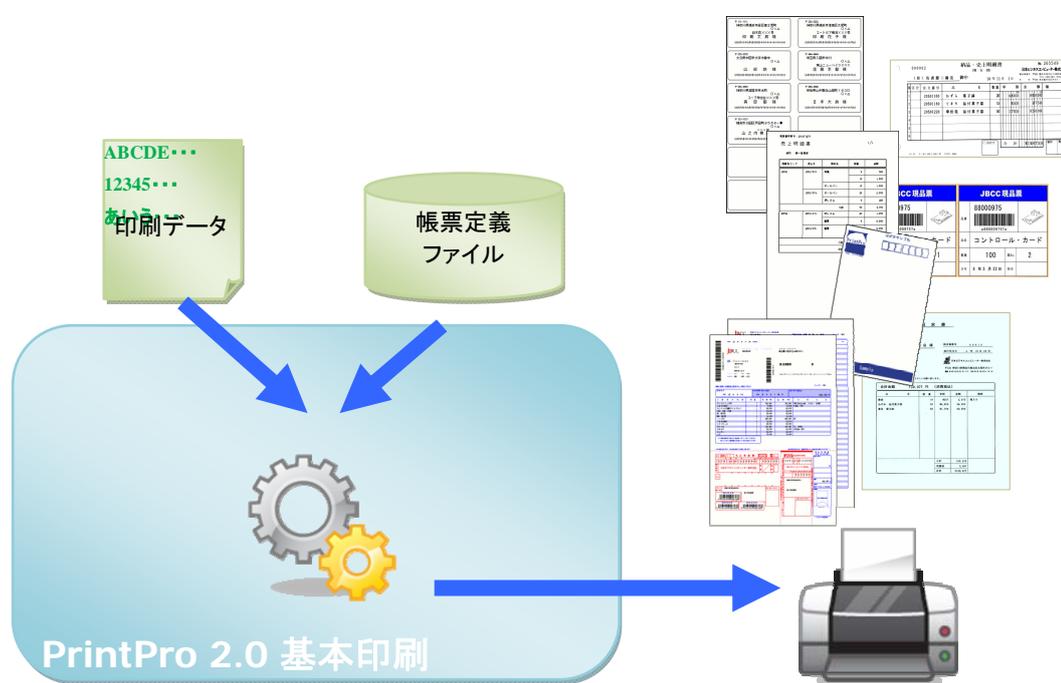
本製品は、帳票定義ファイル(*.def)と、印刷データファイルを読み込んで、印刷データをフォームに差し込んで印刷するためのソフトウェアです。



本製品に、帳票定義ファイル(.def)の設計ソフトウェア/機能は付属しません。



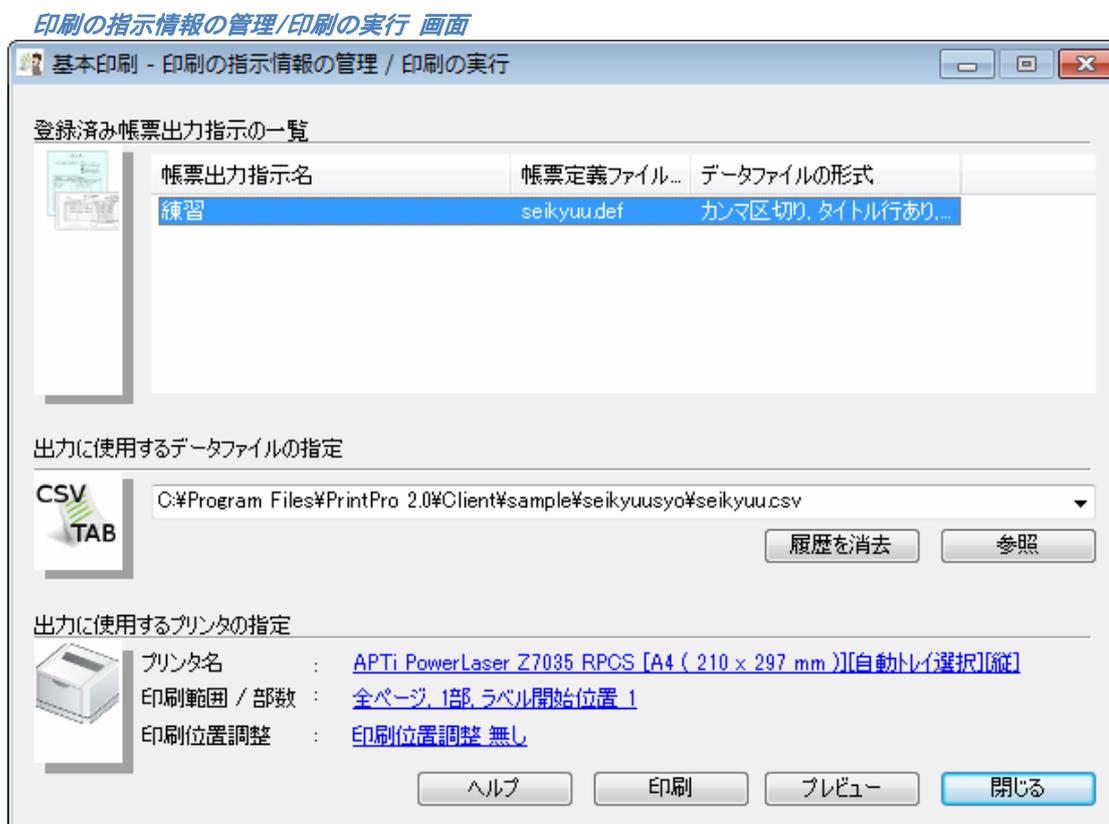
印刷データはお客様でご用意いただく必要があります。



3 第3章 使用方法

3.1 起動する

本製品は、インストール後、Windowsのスタートメニューに登録されます。
[スタート]→[すべてのプログラム]→[PrintPro 2.0]→[基本印刷]→[基本印刷]
の順序でクリックしてください。基本画面が立ち上がります。



本製品は同時にひとつのみ起動可能です

3.2 帳票出力指示の設定をおこなう

出力時に使用する帳票出力指示の設定をおこないます。

帳票出力指示とは、使用する帳票定義ファイルの指定と、関係する設定の集合をします。

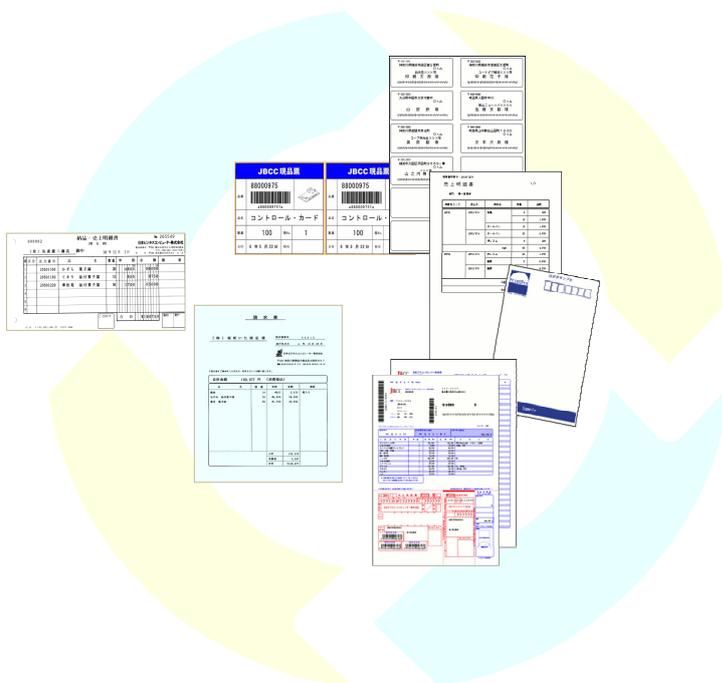
具体的には、

- ・帳票定義ファイル
- ・データファイルの種類(区切り方式、タイトル行、エンコード方式)
- ・改ページの条件
- ・使用するフォームの指定
- ・印刷時の確認メッセージの有無

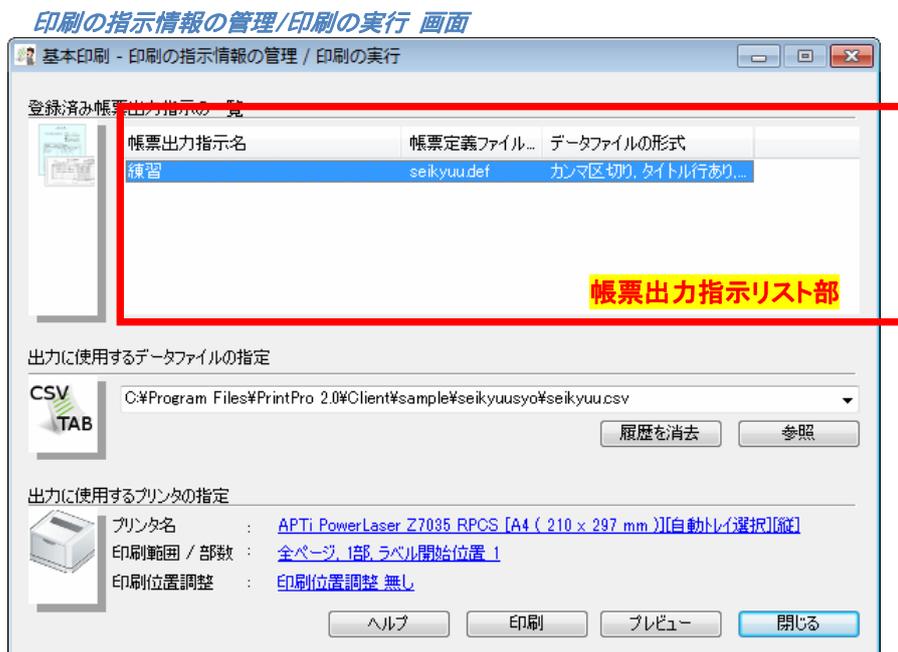
の設定の集合です。

これは任意の名前とともに20個まで作成、保管できます。

一度保管したものは、以降、帳票出力指示リスト部分に表示され、選択するだけで設定を呼び出すことができます。



3.2.1 帳票出力指示を作成する



《印刷指示情報の管理/印刷の実行 画面》の 帳票出力指示リスト部 の空いている部分で右クリックし、表示されるポップアップメニューより[追加]を選択します。



帳票設定の編集画面が表示されます。この画面を使って設定をおこないます。

《帳票出力指示の登録/登録済みの内容の変更 画面》



名前を登録する

本帳票出力指示の名前を指定します。

《帳票出力指示の登録/登録済みの内容の変更画面》

基本印刷 - 帳票出力指示の登録 / 登録済み内容の変更

この帳票出力指示の登録名 : *未設定* **帳票出力指示名指定部**

帳票定義ファイルの選択 : *未設定*

データファイル形式の設定 : *未設定*

印刷時の改ページの設定 : *未設定*

印刷時に使用するフォームの設定 : *未設定*

印刷中の確認メッセージの設定 : *未設定*

設定をおこなうためには、*未設定*部分をクリックしてください。

OK キャンセル

既に登録済みの名前と同じ名前を指定することはできません。

帳票定義ファイルを選択する

本帳票出力指示で使用する帳票定義ファイル(.DEFファイル)を指定します。

《帳票出力指示の登録/登録済みの内容の変更画面》

基本印刷 - 帳票出力指示の登録 / 登録済み内容の変更

この帳票出力指示の登録名 : *未設定*

帳票定義ファイルの選択 : *未設定* **帳票定義ファイル選択部**

データファイル形式の設定 : *未設定*

印刷時の改ページの設定 : *未設定*

印刷時に使用するフォームの設定 : *未設定*

印刷中の確認メッセージの設定 : *未設定*

設定をおこなうためには、*未設定*部分をクリックしてください。

OK キャンセル

データファイル形式を設定する

本帳票出力指示で使用するデータファイルの形式を指定します。

《帳票出力指示の登録/登録済みの内容の変更画面》

基本印刷 - 帳票出力指示の登録 / 登録済み内容の変更

この帳票出力指示の登録名
未設定

帳票定義ファイルの選択 : *未設定*

データファイル形式の設定 : *未設定* **データファイル形式設定部**

印刷時の改ページの設定 : *未設定*

印刷時に使用するフォームの設定 : *未設定*

印刷中の確認メッセージの設定 : *未設定*

設定をおこなうためには、*未設定*部分をクリックしてください。

OK キャンセル

データファイルのタイプ指定部をクリックすると以下の画面が表示されるので、適切な内容を指定します。

《利用するデータファイルの形式の設定画面》

基本印刷 - 利用するデータファイルの形式の設定

データ項目の区切り文字 : タブ

タイトル行の有無 : なし

ファイルのエンコード形式 : SJIS

OK キャンセル

それぞれの項目で指定可能な内容は以下のとおりです。

“データ項目の区切り文字”

設定値	意味
“カンマ”	データ内の項目はカンマ区切りである
“タブ”	データ内の項目はタブ区切りである

“タイトル行の有無”

設定値	意味
“あり”	データにはタイトル行がある
“なし”	データにタイトル行はない

“ファイルのエンコード形式”

設定値	意味
SJIS	データはシフトJIS形式。
Unicode	データはUTF-16 リトルエンディアン形式。
Unicode big endian	データはUTF-16 ビッグエンディアン形式。

印刷時の改ページを設定する

改ページのタイミングを指定します。

《帳票出力指示の登録/登録済みの内容の変更画面》

基本印刷 - 帳票出力指示の登録 / 登録済み内容の変更

この帳票出力指示の登録名
未設定

帳票定義ファイルの選択 : *未設定*

データファイル形式の設定 : *未設定*

印刷時の改ページの設定 : *未設定* **改ページ設定部**

印刷時に使用するフォームの設定 : *未設定*

印刷中の確認メッセージの設定 : *未設定*

設定をおこなうためには、*未設定*部分をクリックしてください。

OK キャンセル

改ページ設定部をクリックすると、設定画面が表示されるので、適切な設定をおこないます。

印刷時の改ページ条件の設定画面

基本印刷 - 印刷時の改ページ条件の設定

選択されている帳票定義ファイル

通常 - データが明細範囲からあふれた時に改ページ

毎レコード - 1レコード毎

キー項目 - 指定した項目の値が前レコードと異なる場合に改ページ

OK キャンセル

それぞれの指定可能と、その内容は以下のとおりです。

設定値	意味
通常	データが明細範囲をあふれたタイミングで改ページします。
毎レコード	1レコード毎に改ページします。
キー項目	データが明細範囲をあふれたか、指定したフィールドのデータが前レコードと異なる場合に改ページします。 本項目を指定する場合、本動作の対象とするキー項目をドロップダウンリストより選択します。

印刷時に使用するフォームを設定する

本帳票設定で使用するフォームを指定します。

《帳票出力指示の登録/登録済みの内容の変更画面》

フォーム設定部をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

それぞれの指定可能と、その内容は以下のとおりです。

設定値	意味
“使用するフォームを事前に指定する”	帳票定義ファイル内のフォームを選んで指定します。 印刷は指定したフォームで印刷されます。
“明細あふれによる改ページでは、上記の次に定義されているフォームを使用する”	“使用するフォームを事前に指定する”を設定した場合のオプションメニューです。 本項目を指定すると、明細あふれによる改ページが発生した場合、帳票定義ファイル内で、上記の次に定義されているフォームが利用されます。  明細あふれによる改ページによって、自動的に定義の次のフォームが使われるのは、最初の一回だけです。以降、連続して明細あふれによる改ページがおきても、そのフォームが使われ続けます。 なお、改ページ方法として”キー項目”を指定している場合、改ページには ・明細あふれによる改ページ ・”キー項目”の違いによる改ページ の2種類が存在します。 上記のとおり、”次に定義された”フォームが使われるのは、明細あふれによる改

	ページの場合です。”キー項目”の違いによる改ページが発生した場合は、 最初に指定されたフォーム に戻ります。
“使用するフォームをデータで決定する”	<p>データでフォームコードを指定して、使用するフォームを決定します。ここではフォームコードを指定するデータ項目を設定します。</p> <p>❗ フォームコードとは、帳票定義ファイル内のフォームに対し、帳票設計者が、設定する識別子です。</p> <p>❗ フォームの切り替えりのタイミングは改ページのタイミングです。</p>

印刷中の確認メッセージを設定する

印刷中に確認メッセージをだすかどうかを指定します。

《帳票出力指示の登録/登録済みの内容の変更画面》

基本印刷 - 帳票出力指示の登録 / 登録済み内容の変更

この帳票出力指示の登録名
未設定

帳票定義ファイルの選択 : *未設定*

データファイル形式の設定 : *未設定*

印刷時の改ページの設定 : *未設定*

印刷時に使用するフォームの設定 : *未設定*

印刷中の確認メッセージの設定 : *未設定* **印刷中確認設定部**

設定をおこなうためには、*未設定*部分をクリックしてください。

OK キャンセル

印刷中確認設定部をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

基本印刷 - 印刷中の確認メッセージの設定

印刷確認メッセージ : 確認メッセージを表示しない

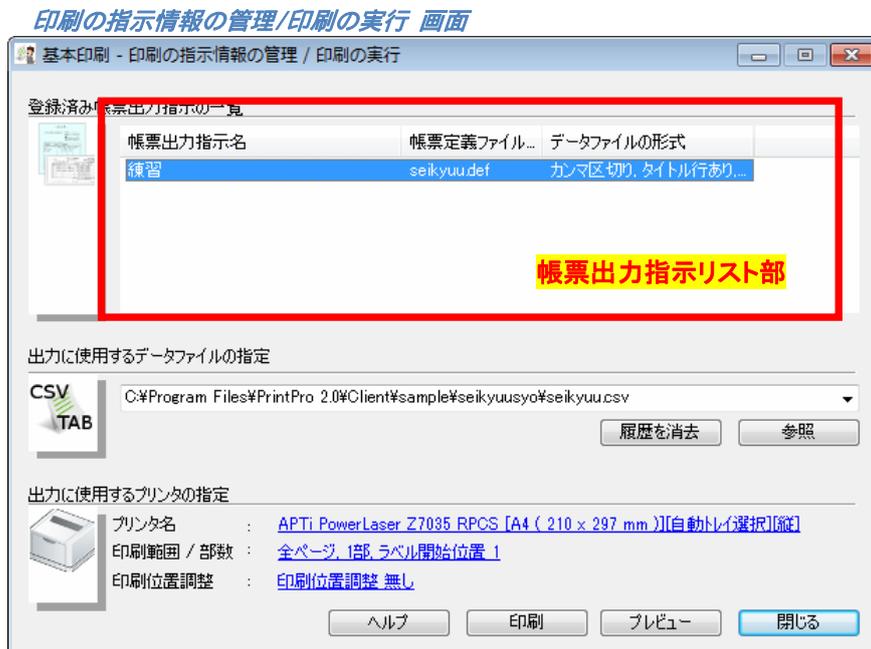
OK キャンセル

設定項目とその内容は以下のとおりです。

設定値	意味
“確認メッセージを表示しない”	特にメッセージを表示しません。
“ページの切り替わりごとに確認メッセージを表示する”	<p>ページごとに、印刷を続行するか中止するかのメッセージが表示されます。</p>
“フォームの切り替わりごとに確認メッセージを表示する”	<p>フォームが切り替わるタイミングで、印刷を続行するか中止するかのメッセージが表示されます。</p> <p>メッセージの内容は”ページの切り替わりごとに～”と同等です。</p>

3.2.2 帳票出力指示を選択する

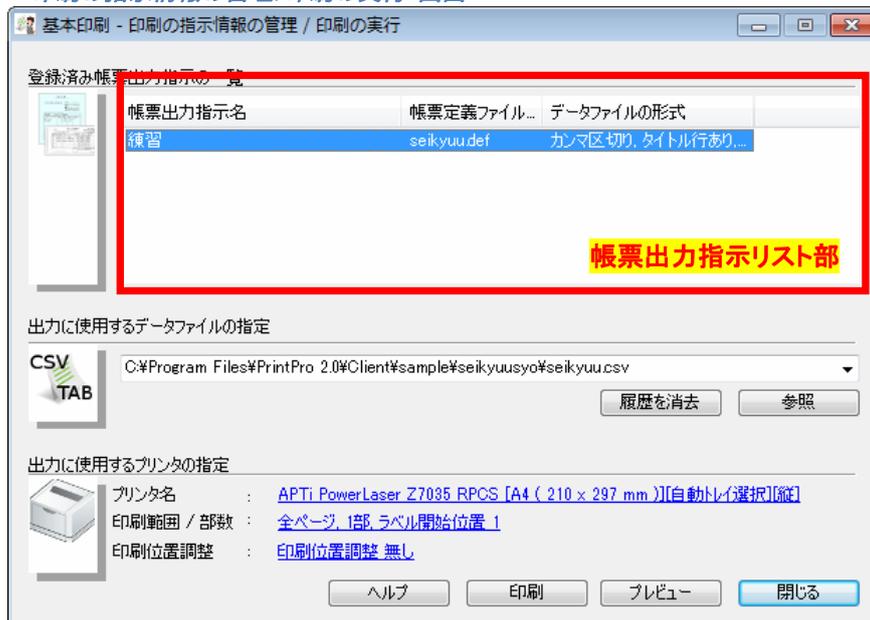
帳票出力指示リスト部分にて、指定したいアイテムを左クリックします。
選択されたアイテムはハイライト状態となります。



帳票出力指示の編集、削除、順序変更や、出力に使用するプリンタの設定、印刷、およびプレビューは、この選択された帳票出力指示に対しておこなわれます。

3.2.3 帳票出力指示を編集する

印刷の指示情報の管理/印刷の実行 画面

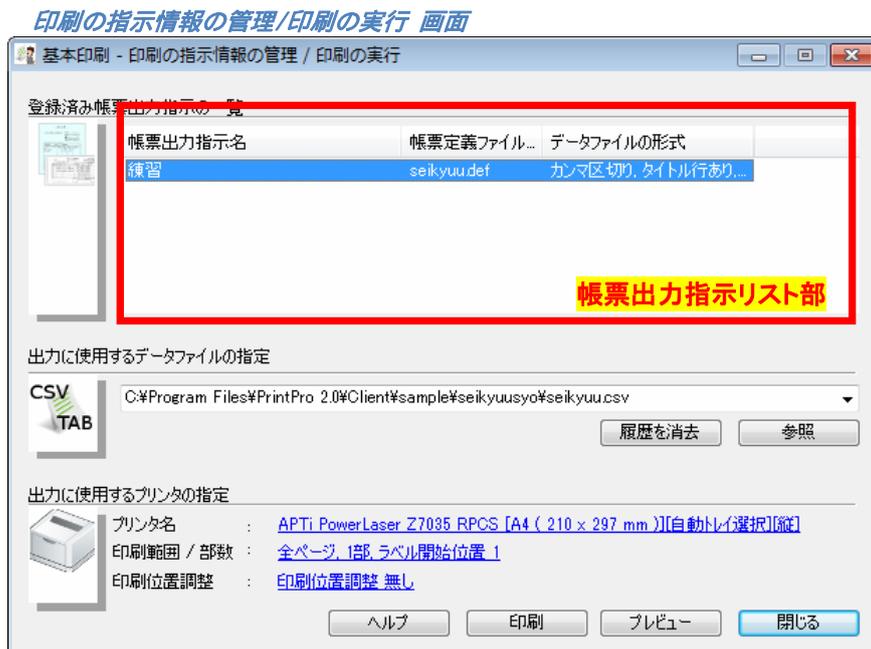


帳票出力指示リスト部から、編集したいアイテムを右クリックし、表示されるポップアップメニューより[編集]を選択します。



《帳票出力指示の登録 / 登録済みの内容の変更 画面》が表示されるので、設定をおこないます。
帳票出力指示の内容および指定については、『3.2.1 帳票出力指示を作成する』をお読みください

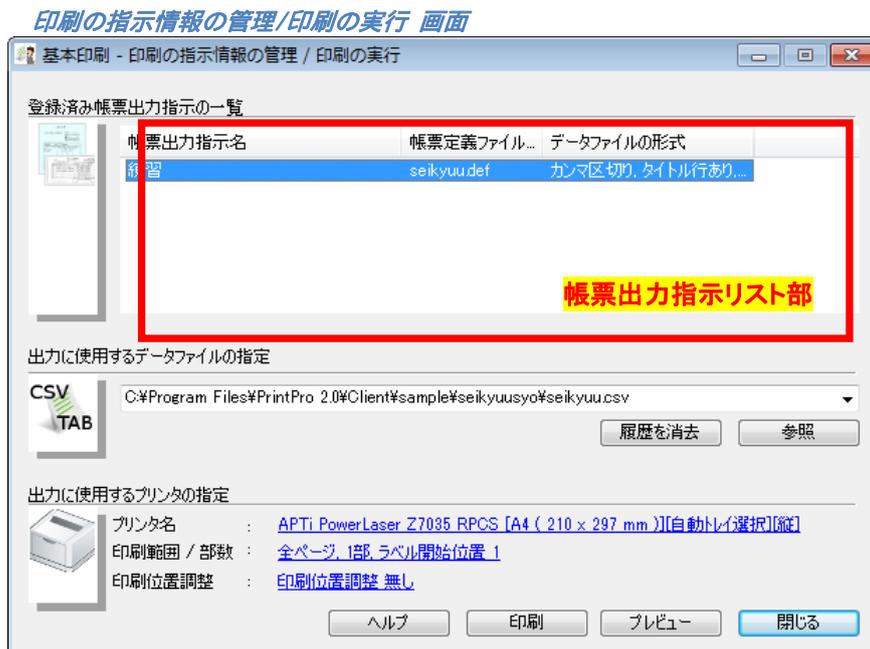
3.2.4 帳票出力指示を削除する



帳票出力指示リスト部から、削除したいアイテムを右クリックし、表示されるポップアップメニューより[削除]を選択します。



3.2.5 帳票出力指示リストの並びを変更する



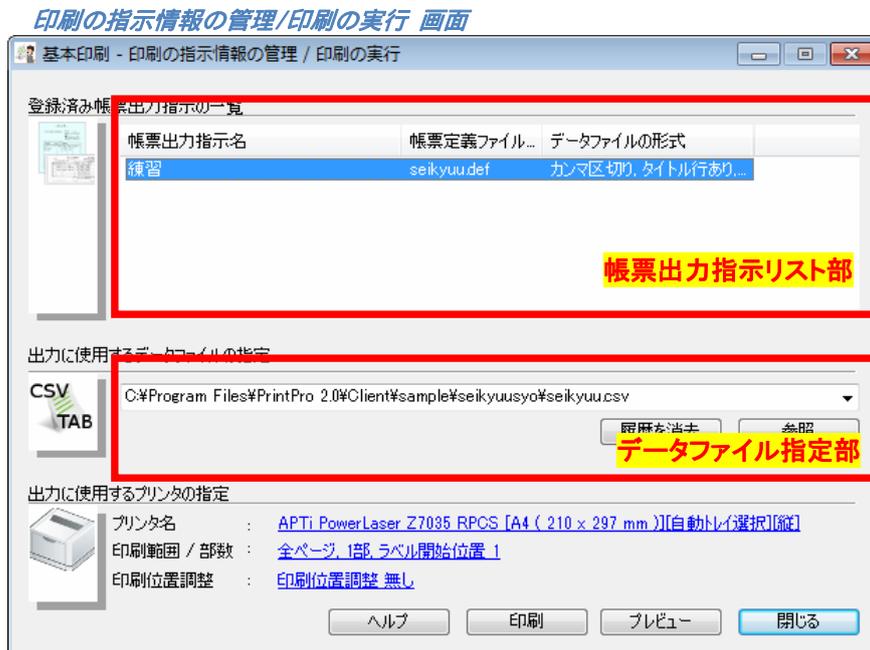
帳票出力指示リスト部分に登場する帳票設定の順序は変更可能です。
順序を変更したいアイテムを選択し、右クリックすると以下のポップアップメニューが表示されます。



上へ移動したい場合は[上へ移動]、下へ移動したい場合は[下へ移動]をクリックします。

3.3 出力に使用するデータファイルを指定する

出力に使用するデータファイルを指定します。



まず、帳票出力指示リスト部から、使用する帳票出力指示を選択します。



指定したデータファイルは、帳票出力指示と関連付けて管理されます。
そのため、データファイルを指定する前に、帳票出力指示リスト部から使用する帳票出力指示を選択してください。

この状態からデータファイルの指定方法は2種類あります。

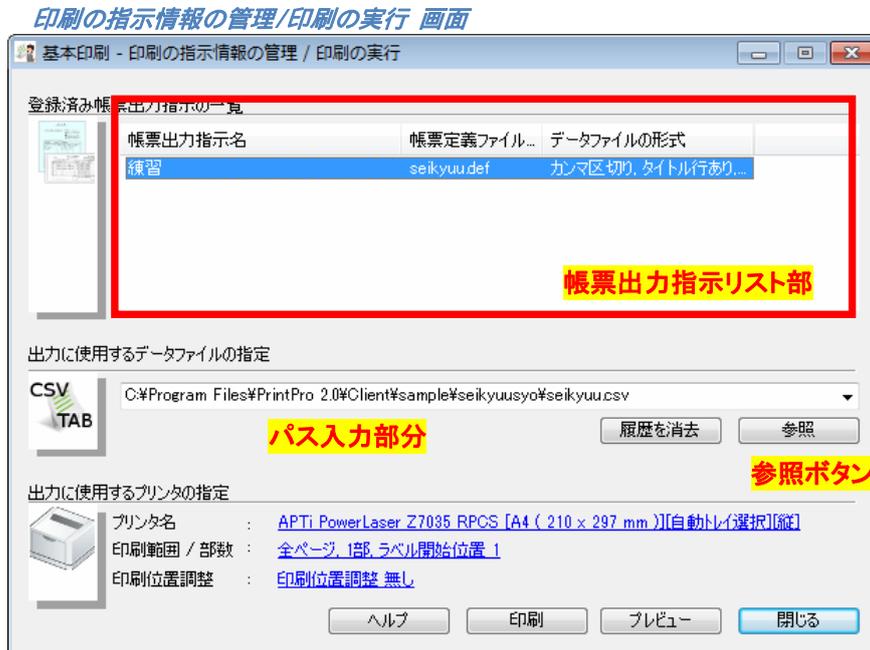
指定方法	内容
過去の履歴から指定する	選択された帳票設定で、過去に出力したデータファイルのリストから指定します。
新規に指定する	新規にデータファイルを指定します。

なお、データファイルのデータタイプ(区切り方式、タイトル行の有無、エンコード方式)の指定は、帳票出力指示でおこないません。これは『3.2.1 帳票出力指示を作成する』を参照してください。

3.3.1 新規に指定する

まず、帳票主力指示リスト部から、使用する帳票出力指示を選択します。

その後、パス入力部分に手でパスを入力するか、または[参照]ボタンをクリックして、ファイルを指定します。

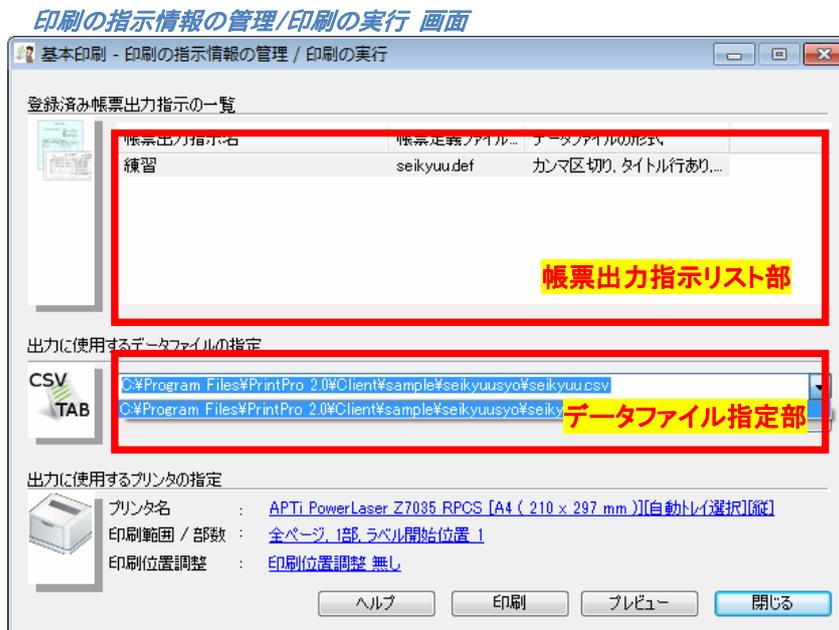


3.3.2 過去の履歴から指定する

まず、帳票設定リスト部から、使用する帳票設定を選択します。

データファイル指定部のドロップダウンリストをドロップします。

指定した帳票出力指示で、過去に出力したデータファイル名がリストされますので、出力したいデータファイルを選択します。



保管される履歴の数は、ひとつの帳票出力指示あたり、20個です。20個以上ある場合、最新の20個のみが保管されます。

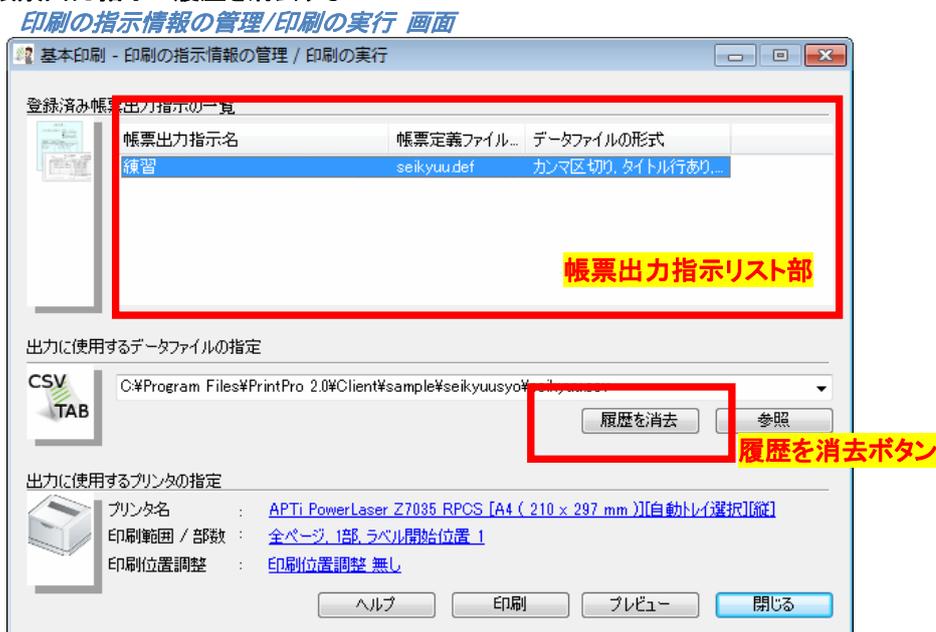


指定するデータファイルは、帳票出力指示と関連付けて管理されます。そのため、データファイルを指定する前に、帳票出力指示リスト部から使用する帳票出力指示を選択してください。

3.3.3 履歴を消去する

データファイルの履歴を消去したい場合、以下の手順で消去します。

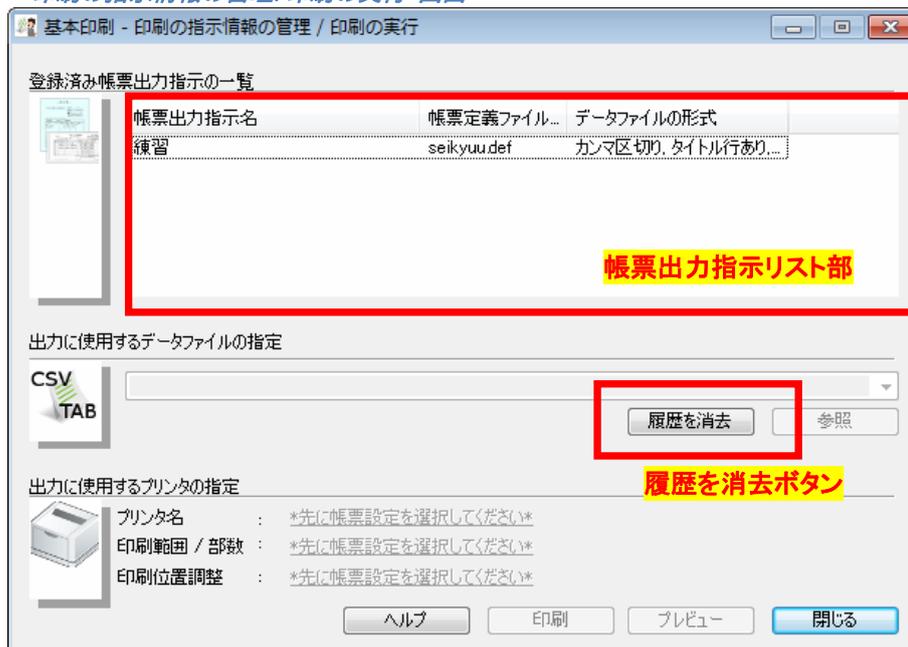
特定の帳票出力指示の履歴を消去する



履歴を削除したい帳票出力指示を選択し、ハイライト状態にします。
その状態で、データファイル指定部の[履歴を消去]ボタンをクリックします。

全ての帳票帳票出力指示の全ての履歴を消去する

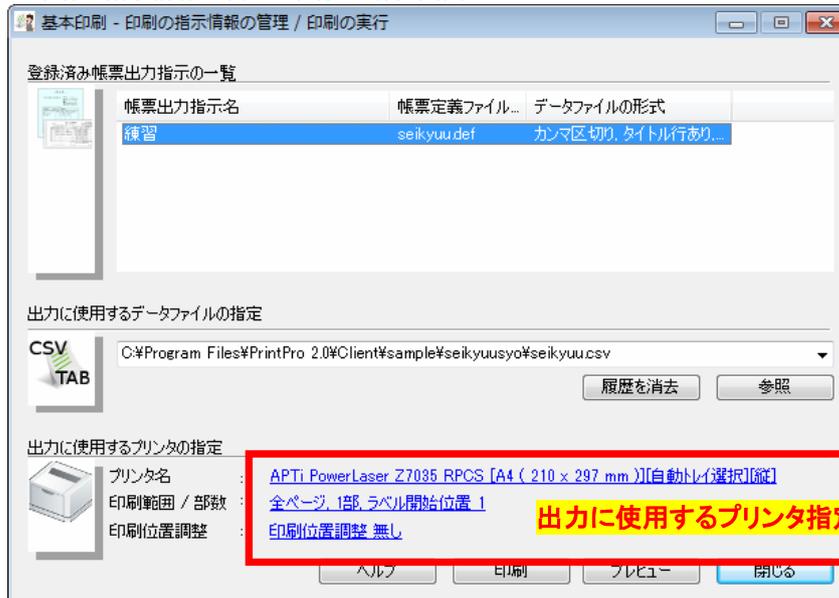
印刷の指示情報の管理/印刷の実行 画面



帳票出力指示リスト部のアイテムがない部分をクリックし、アイテムが選択されていない状態にします。その状態で、データファイル指定部の[履歴を消去]ボタンをクリックします。

3.4 出力に使用するプリンタを指定する

印刷の指示情報の管理/印刷の実行 画面

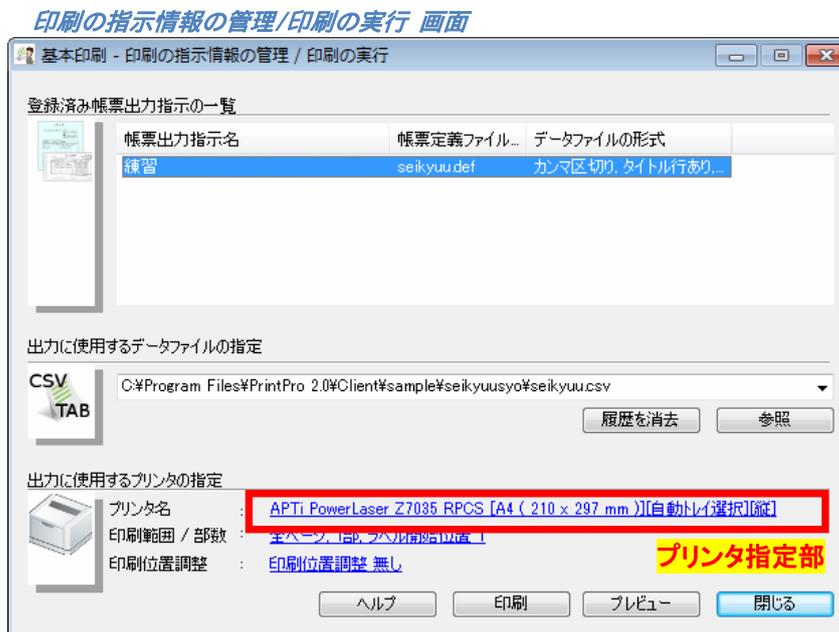


出力プリンタ指定部では、以下の3つのカテゴリの内容を指定します。

カテゴリ	内容
プリンタ名	出力に使用するプリンタを指定します。 用紙サイズ、給紙装置、用紙の向きなどもあわせて指定します。
印刷範囲 / 部数	出力するページの範囲、部数、開始ラベルを指定します。
印刷位置調整	出力時に、全体の印字位置を調整します。プリンタの固体差による微妙なずれなどが生じた場合に使用します。

3. 4. 1 プリンタと用紙サイズ/給紙装置/用紙の向きを指定する

使用するプリンタと、用紙サイズ、給紙装置、用紙の向きを指定します。

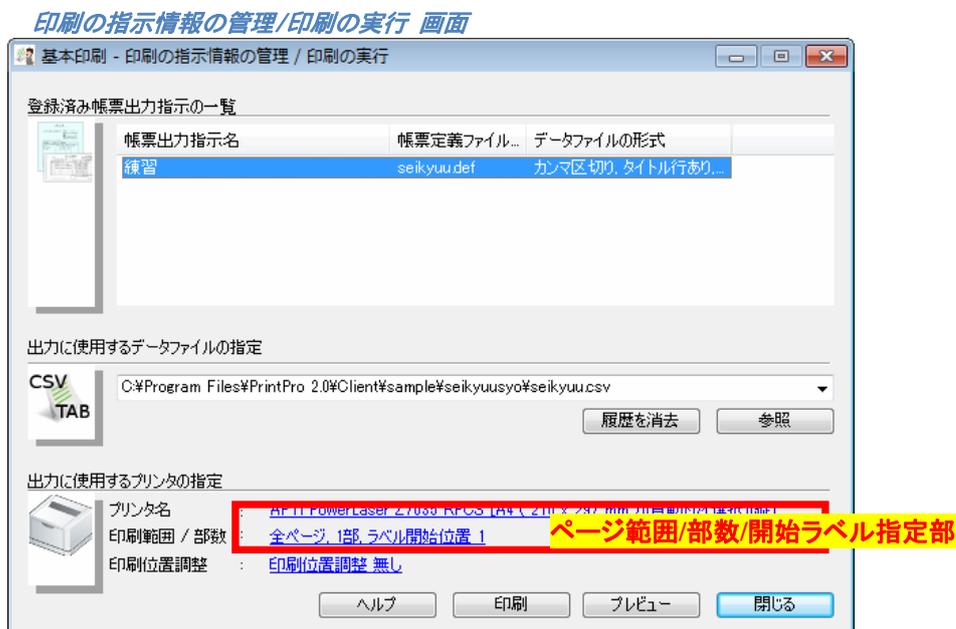


《印刷の指示情報の管理/印刷の実行 画面》で、プリンタ指定部をクリックします。
以下のプリンタの設定画面が表示されますので、必要な設定をおこない、[OK]ボタンをクリックします。

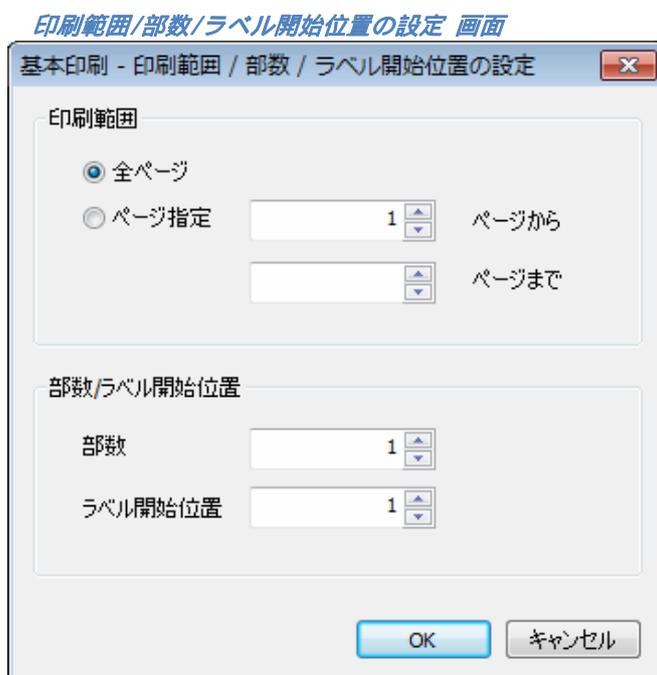


3.4.2 印刷するページ範囲/部数/ラベルの印刷開始位置を指定する

印刷するページの範囲、部数、そしてラベルフォームを使用した印刷の場合に印刷を開始する用紙上のラベル位置を指定します。



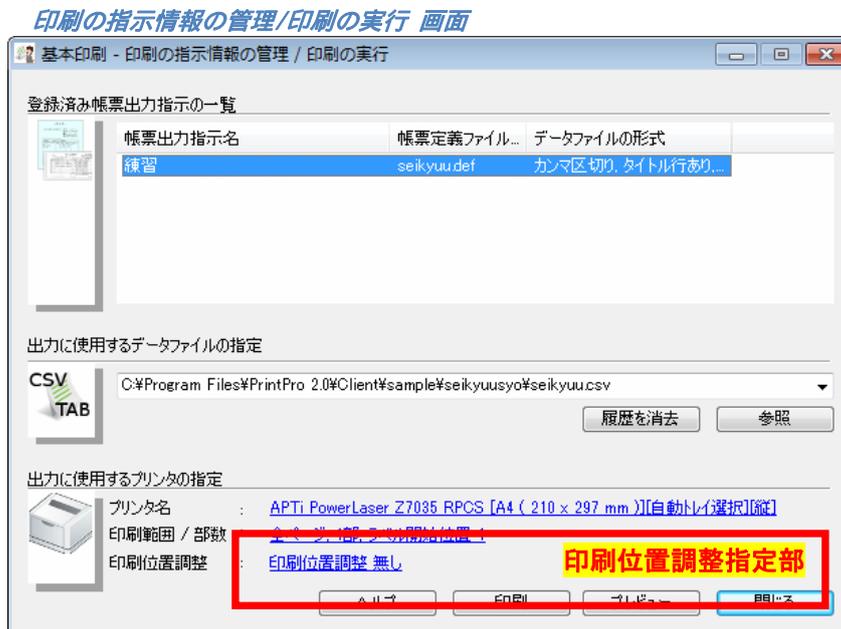
《印刷の指示情報の管理/印刷の実行 画面》で、ページ範囲/部数/開始ラベル指定部をクリックします。以下の設定画面が表示されますので、必要な設定をおこない、[OK]ボタンをクリックします。



3.4.3 印刷位置微調整

印刷位置全体の微調整をおこないます。

プリンタ固体の違いなどから、印刷位置がうまく合わない場合に使用します。



《印刷の指示情報の管理/印刷の実行 画面》で、印刷位置調整指定部をクリックします。
以下の設定画面が表示されますので、必要な設定をおこない、[OK]ボタンをクリックします。



横方向は用紙の右に向かう側をプラス、縦方向は用紙の下に向かう側をプラスとして、+99.9mmから-99.9mmの範囲で指定できます。

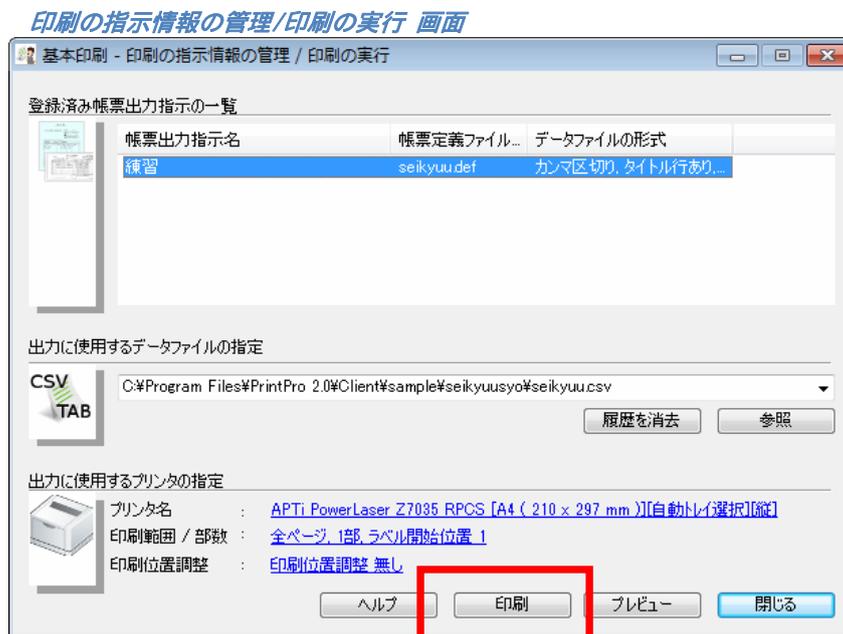
プレビュー画面は、画面上部のパネルで操作します。



カテゴリ	内容
ページ番号表示部	総ページ数および現在表示しているページ番号を示します。
先頭ページへ移動ボタン	先頭ページへ移動します。
前ページへ移動ボタン	現在表示しているページの、前のページに移動します。
移動ページ指定ボタン	ページ番号を指定して移動します。
次ページへ移動ボタン	現在表示しているページの、次のページへ移動します。
最終ページへ移動ボタン	最終ページへ移動します。
表示倍率指定部	<p>プレビュー上の表示倍率を指定します。</p> <p>50%から400%の範囲で任意倍率を入力できます。</p> <p>また、ドロップダウンリストから以下の事前定義された倍率を選択することもできます。</p> <p>“全体”：プレビュー画面に全体が入るように自動的に拡大・縮小する</p> <p>“横固定”：プレビュー画面の横幅と用紙幅が一致するように拡大・縮小する。</p> <p>“縦固定”：プレビュー画面の縦幅と用紙高が一致するように拡大・縮小する。</p> <p>“50%”：実際の用紙サイズに対して50%の大きさをプレビューする。</p> <p>“75%”：実際の用紙サイズに対して75%の大きさをプレビューする。</p> <p>“100%”：実際の用紙サイズでプレビュー表示する。</p> <p>“125%”：実際の用紙サイズに対して125%の大きさをプレビューする。</p> <p>“150%”：実際の用紙サイズに対して150%の大きさをプレビューする。</p> <p>“200%”：実際の用紙サイズに対して200%の大きさをプレビューする。</p> <p>“400%”：実際の用紙サイズに対して400%の大きさをプレビューする。</p>
閉じるボタン	プレビュー画面を閉じます。

3.6 印刷する

印刷ボタンをクリックすると、現在の設定の内容で印刷がおこなわれます。



印刷に失敗した場合、その旨のメッセージボックスとエラーコードが表示されます。エラーコードについては、以下のとおりです。

同じ意味でもあってもエラーの発生箇所の違いから値が異なる場合がありますのでご了承ください。

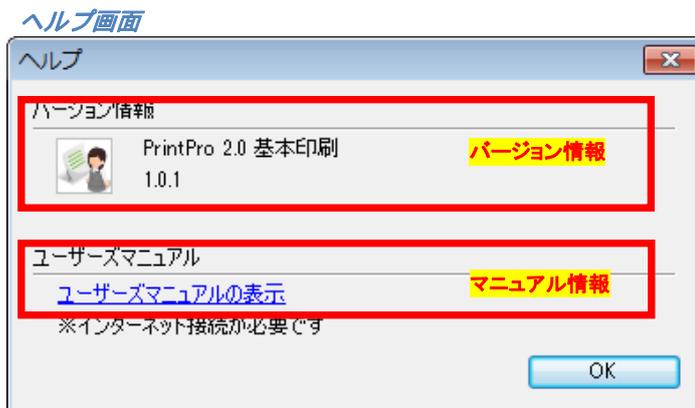
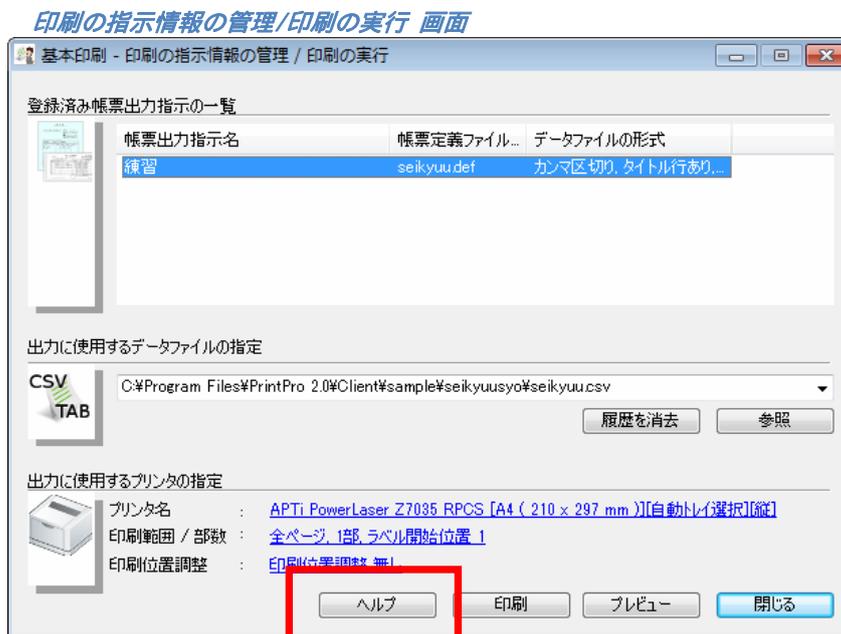
0以上	正常終了しました。 印刷されたレコード数が返ります。
-1	失敗しました。
-3	帳票定義ファイルの指定に誤りがあります。
-5	プリンタがオープンできません。
-9	メモリが足りません。
-20	印刷データの指定に誤りがあります。
-60	プリンタ関連エラーが発生しました。
-70	帳票定義ファイルエラーが発生しました。
-99	使用できない帳票定義ファイルが指定されています。(ファイルのパスが誤っているなど。)
-100	JBCCCABC.DLLがロードできません。
-101	PPFWGZIP.DLLがロードできません。
-102	データ解凍エラーが発生しました。
-103	帳票定義ファイル名指定でエラーが発生しました。(ファイルの拡張子が「def」ではないなど。)
-104	集計機能と複写紙モードが同時に指定されています。
-105	存在しないフォームが指定されています。
-106	FormLinkItemの指定が誤っています。
-199	データタイプの設定が誤っています。
-200	ダイアログボックスのキャンセルボタンが押されました。

-1002	拡大・縮小率の設定が正しくありません。
-1004	EndPageの値がStartPageの指定値より小さくなっています。
-1006	データファイルの操作時にエラーが発生しました。
-1020	データタイプの設定が誤っています。
-1021	SelectFormの指定が誤っています。
-1022	KeyBreakの指定が誤っています。
-1023	FormSetModeの指定が誤っています。
-1024	印刷開始ラベルの指定が誤っています。
-1025	FormLinkItemの指定が誤っています。
-1103	データ定義ファイルのオープンに失敗しました。
-1104	正しいデータ定義ファイルではありません。
-1105	正しいデータ定義ファイルのバージョンではありません。
-1106	データ定義ファイルの読み込みに失敗しました。
-1109	メモリの獲得に失敗しました。
-1110	データ定義ファイルの項目数が異常です。
-1112	データ定義項目の読み込みに失敗しました。
-1113	データ定義ファイルのオープンに失敗しました。
-1119	メモリの獲得に失敗しました。
-1123	データ定義ファイルのオープンに失敗しました。
-1129	メモリの獲得に失敗しました。
-2100	ラベルフォームですが、集計機能が指定されています。
-2101	複写紙出力が指定されていますが、同時に集計機能が指定されています。
-2111	通常使うプリンタの名前が取得できません。
-2127	明細項目オブジェクトが定義されていますが、明細範囲オブジェクトがありません。
-2171	ラベルフォームですが、明細項目オブジェクトが定義されています。
-2172	ラベルフォームですが、集計型項目オブジェクトが使用されています。
-2173	ラベルフォームですが、演算型項目オブジェクトが使用されています。
-2174	ラベルフォームの横枚数の指定が有効な範囲を超えています。
-2175	ラベルフォームの縦枚数の指定が有効な範囲を超えています。
-2176	ラベルフォームの横間隔の指定が有効範囲を超えています。
-2177	ラベルフォームの縦間隔の指定が有効範囲を超えています。
-2190	用紙の向きの指定にエラーがあります。
-2200	用紙サイズの指定にエラーがあります。
-2210	用紙の向きの指定にエラーがあります。
-2220	両面設定の指定にエラーがあります。
-3010	部数型に指定された値が有効範囲を超えています。
-3020	連番型に指定された値が有効範囲を超えています。
-3060	複写紙モードが指定されていますが、次に使用するべきフォームが存在しません。
-3090	次に使用するべきフォームが存在しません。
-3130	部数型に指定された値が有効な範囲を超えています。
-3140	連番型に指定された値が有効な範囲を超えています。

-5000	評価版の有効期限が終了しました。
上記以外のマイナス値	上記外の内部エラー

3.7 ヘルプを表示する

メイン画面のヘルプボタンをクリックすると、本製品のバージョン情報およびマニュアルを確認することができます。



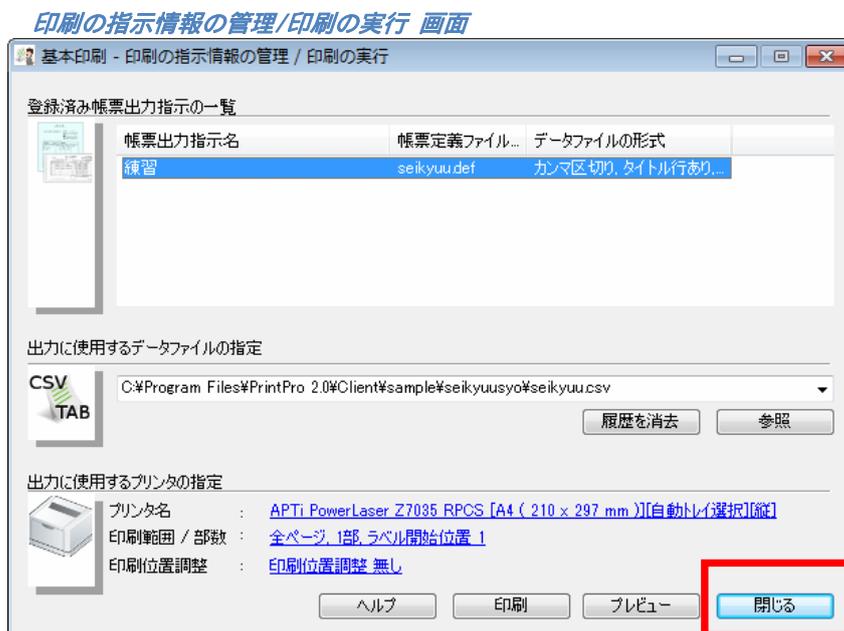
ユーザーズマニュアルを読む場合は、マニュアル情報部分をクリックしてください。クリックすると、ブラウザが起動し、マニュアルが表示されます。



ユーザーズマニュアルの表示にはインターネット接続可能環境が必要となります。

3.8 終了する

メイン画面の閉じるボタンをクリックすると、本プログラムは終了します。



4 第4章 サンプル

4.1 サンプルの場所と設定

本製品にはサンプルが同梱されています。
インストール後、以下のフォルダに配置されます。

(本製品インストールフォルダ)¥sample

以下の2種類のサンプルが格納してありますので、『第3章 使用方法』を参照の上、それぞれ以下の内容の設定でお試ください。

サンプル1 (請求書)

本サンプルが配置されているサブフォルダ名		seikyusyo
帳票出力指示	名前	請求書
	帳票定義ファイル	seikyuu.def
	データファイルのタイプ	カンマ区切り、タイトル行あり、Unicode big endian
	改ページのタイミング	通常
	使用するフォーム	請求書, 改ページで次のフォーム
	印刷中の確認メッセージ	確認メッセージを表示しない
出力に使用するデータファイル		seikyuu.csv
出力に使用するプリンタ		お客様の環境にあわせてご指定ください

サンプル2 (ラベル)

本サンプルが配置されているサブフォルダ名		ctgenpinhyo
帳票出力指示	名前	CT現品票
	帳票定義ファイル	ctgenpinhyo.def
	データファイルのタイプ	カンマ区切り、タイトル行あり、UTF16BE
	改ページのタイミング	通常
	使用するフォーム	現品票ラベル
	印刷中の確認メッセージ	確認メッセージを表示しない
出力に使用するデータファイル		ctgenpinhyo.csv
出力に使用するプリンタ		お客様の環境にあわせてご指定ください

5 第5章 印刷APIの利用

5.1 概要



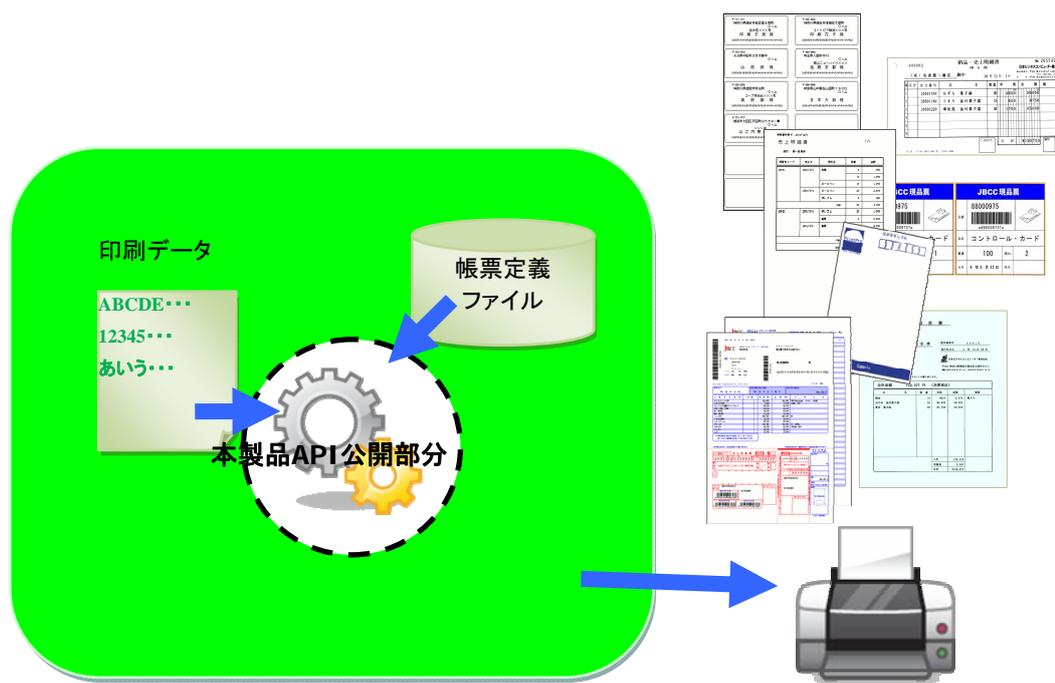
本章は、お客様がプログラム開発をおこなって本製品と連携させる場合の説明です。Windowsやプログラミングに関する知識が前提となります。

また、プログラムを開発および本製品と連携させる必要のないお客様は、本章をお読みになる必要はありません。

本製品は、オーバーレイを含む印刷機能部分について、外部から利用可能な印刷APIを公開・提供しています。このプログラム部分はDLLを中心とする複数のファイル群で構成されており、該当部分をお客様開発のアプリケーションに組み込んで利用することができます。



本製品の画面部分を組み込むことはできません。組み込み用途で利用可能な機能の範囲は印刷APIリファレンスにてご確認ください。



5.2 必要なファイルのコピー

印刷APIを利用される場合、以下のファイルをお客様のアプリケーションから利用可能な場所に配置して利用します。

(本製品インストールフォルダ)¥apiフォルダ以下の全てのファイル
※sampleフォルダはコピーする必要ありません

これは、既定値でインストールされた場合、以下のパスになります。

C:¥Program Files¥PrintPro 2.0¥Client¥api

C:¥Program Files¥PrintPro 2.0¥Client¥api

また、以下のフォントファイルを対象PCのフォントフォルダ((Windowsフォルダ)¥fonts)にコピーします。

(Windowsフォルダ)¥fonts¥jbccocr-b.ttf



ファイルをコピーするには、一度本製品をインストールする必要があります。

5.3 印刷APIリファレンス

以下の場所に、リファレンスが配置してありますのでご確認ください。

(本製品インストールフォルダ)¥doc¥基本印刷_印刷APIリファレンス.pdf

これは、既定値でインストールされた場合、以下のパスになります。

C:¥Program Files¥PrintPro 2.0¥Client¥doc¥基本印刷_印刷APIリファレンス.pdf